



つばめ子育て応援企業認定制度とは？

認定を受けると、男性従業員の育休取得に対し「育児休業取得促進奨励金」を事業主と育児休業取得者に交付します。また、子育て応援企業として、市ホームページなどでPRします。

なお、認定企業は「つばめ子育て応援3つ星企業」と「つばめ子育て応援2つ星企業」の区分があります。



●奨励金の交付額

①つばめ子育て応援3つ星企業の場合



②つばめ子育て応援2つ星企業の場合



※奨励金の交付は条件がありますのでご注意ください。

新潟県の「イクメン応援プラス認定」を受けると、会社と育休取得者が各5万円の助成金を受給することができます。
※燕市奨励金と併用可

●申請の流れ

- 1 まずは、新潟県のハッピー・パートナー企業の「イクメン応援プラス」または「子育て応援プラス」を申請

○認定要件

ハッピー・パートナー企業の基本登録
(①～④の19項目中10項目以上を満たす企業)

①男女共に働きやすい職場環境づくり：5項目

②男女共に仕事と家庭などの両立に向けた取り組み：6項目

③女性の能力を活かす取り組み：5項目

④労働基準法、男女雇用機会均等法、育児介護休業法の遵守：3項目 (必須)

イクメン応援プラス認定
(⑤⑥を満たす登録企業)

⑤次世代育成支援対策推進法に基づく、一般事業主行動計画を策定・届出

⑥男性労働者が育児に参加しやすい職場づくりに取り組んでいる

子育て応援プラス認定

②の6項目全てを満たす登録企業
または
イクメン応援プラス認定企業

○ハッピーパートナー企業の申請窓口
新潟県男女平等社会推進課
☎025・280・5142
詳しくは県HPをチェック▶



- 2 燕市に申請

イクメン応援プラス認定企業は
★★★つばめ子育て応援3つ星企業

子育て応援プラス認定企業は
★★つばめ子育て応援2つ星企業

○燕市の申請窓口 地域振興課 地域振興係 ☎0256・77・8361



燕の企業は子育て応援も★★★

～燕市は子育てを応援する企業をサポートします～



「つばめ子育て応援企業」認定第1号
遠藤工業株式会社の皆さん

夫婦共働きは当たり前前？皆さんの印象はいかがですか？平成27年の国勢調査では夫婦共働きの割合は日本全体で約6割でした。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という意識が社会全体で薄れるとともに、共働き世帯は今後ますます増加していくことが予想されます。

若い世代の女性の考え方も変化し、女性の社会進出が進みました。「男性と同等に働きたい、キャリアを積みたい」と考える女性が増えることは、結婚・出産後も仕事を続けることを希望していることと同等です。

もちろん、世帯の平均年収が減少し、共働きでなければ子育てができないということも大きな要因で、こうした動向は今後も続くと考えられています。

子育て中の共働き世帯は、いかに夫婦間で協力して子育てできるかがポイントです。特に妻の出産直後に夫が育児に積極的に参加できる環境づくりが重要となっています。

夫が「育児休業」を取得し、積極的に子育てに参加する。そして、そのスタートをうまく切

ることができれば、その後の育児にも自然に関わっていただけるはず。夫が気兼ねなく育休を取得できるかがカギとなります。

男女が平等に家のことや地域のことに関わり、そして仕事をするのであれば、女性が社会で活躍する場が増えます。女性の職業選択の幅が広がれば、男性が多かった職場にも女性の意見や感覚が加わり、職場環境や製品などの改善につながることも期待できます。

男性社員が育休を取得する環境が整っている会社は、社員の福利厚生のほかにも会社のビジネスチャンスやイメージアップにも繋がるかもしれません。

市では、男女ともに育児と仕事を両立しやすい環境を整えている企業を「子育て応援企業」と認定し、育休取得に際し、奨励金を交付しています。

会社が従業員の育休取得を後押しし、子育てを応援！そんな企業を燕市が応援！

今の特集では、市の「子育て応援企業認定制度」や「男女が共に輝ける社会」を目指して推進している事業などを紹介します。

イクメンパパの子育て奮闘記!

今年3月に第一子が誕生した遠藤工業(株)の吉岡祐紀さん。会社や同僚の協力を受け、育休を約2カ月半取得し、家事に子育てに奮闘しました。現在、お子さんは生後7カ月。パパは今日もがんばっています。

★産後の子育てを気にかけてくれた上司や同僚

新型コロナの影響で私と妻の両親どちらも出産後に手伝いに来ることができませんでした。そのため、出産と同時に育休を取得できないかと考えていました。

実は社内の男性育休取得実績を知りませんでした。そのため、上司に相談するときはちょっと不安な気持ちもありましたが、いざ相談してみると即答で「もちろんOK」の返事が！しかも、「そんな短くていいの？」とも言われました(笑) 同僚からも「育児頑張れ！」と声をかけてもらいましたし、総務担当からは、制度や手続きなども丁寧に説明してもらいました。

そのことを妻に伝えると本当に喜んでくれたことを覚えています。社内では日頃からコミュニケーションをよくとっていたので、相談しやすかったのだと思います。

★育児は24時間休みなし

育休中は妻と協力して家事と育児を行いました。以前から、炊事・掃除・洗濯は妻と分担していたので、一から全てを覚えるということはなかったのですが、あらためて思い返すと、あつという間の育休期間でした。

夜泣きは常に妻と2人で付きっきりで対応していましたので、育児は24時間休みなしを身をもって体験しました。そのために育休を取ったので、当たり前かもしれませんが、妻からは感謝されました。今でもオムツ交換や休日の炊事など、育児や家事には積極的に関わっています。

もうちょっと子どもが大きくなったら、公園にも遊びに行きたいですね。そのためにも、早くコロナ禍が収束してほしいです。



技術本部 商品技術部
吉岡祐紀さん
入社10年目。今年3月に第一子が誕生し、育休を取得。

★子どもの成長は早い。今しか味わえない喜び!

育休期間中は24時間一緒にいたので、日に日に大きくなっていく我が子を見ることができ、本当に良かったと思っています。「また手足が伸びたなあ」とか(笑) 会社に復帰した今は、週末くらいしか子どもとじっくり触れ合えませんので、なおさら実感しています。

子どもの成長は早いですね。今しか味わえない喜びだと思いますので、本当に育休を取得して良かったと思っています。まだ男性の育休取得は少なく抵抗がある人もいますが、子どものため、家族のために検討してみたいかでしょうか。そのためにも、市には「つばめ子育て応援企業認定制度」の継続と充実を図っていただきたいですね。



遠藤工業株式会社
燕市秋葉町 3-14-7
「つばめ子育て応援企業」認定第1号

取締役
経営管理部長
榎本 克己さん (写真左)

経営管理部 総務・経理グループ
リーダー
若林 雄太さん (写真右)

「つばめ子育て応援企業」認定第1号!
子育てを応援している企業に聞きました。

「育休制度と育休取得に対する会社の考えを教えてください。」
基本的には国の制度に則った規定になっていますが、お子さんが、1歳6カ月になるまでは無条件で取得できるようにしました。会社としては、対象者が希望するようであれば、気兼ねなく育休を取得してほしいと思っています。少子高齢化が進む中、企業としては子育てしやすい環境を整えるべきだと考えています。

新潟県の「ハッピーパートナー企業」と市の「つばめ子育て応援企業」に認定されていますので、会社と育休取得者に助成金が出るのは、ありがたいですね。

「育休取得者は何人いらっしゃいますか?」
男性は2017年から5人です。これは対象者の約4割が取得していることとなります。総務担当では、対象者が分かった時点で本人に制度の説明を行っています。1カ月単位で取得し、長い人だと3カ月間取得します。

その間は、部署内で柔軟に人員をやり繰りし、必要があれば、育

休期間中でも出社してもらっています。お互いに納得した上で進めていますし、早めの連絡・相談で、特に問題は発生していません。部署によって取得しづらいというところはありません。育休に限らず有給休暇を取りやすい会社だと思っています。

「育休制度を充実させることでメリットはありますか?」
今の若い人たちは、就職活動で企業の福利厚生を重要視します。当社としては、育休制度を積極的にPRしているわけではありませんが、会社のイメージアップには繋がっていると考えています。

また、実際に育休を取得した社員からは「会社や上司・同僚の理解があり、育児・家事に専念できた」という声も寄せられています。会社への帰属意識に繋がれば嬉しいことです。

これからは、男性の育休取得が更に当たり前の時代になると思います。

「育休制度以外でも「働き方改革」などで実践していることはありますか?」

働き方に対する考え方が多様化している中で、それらに配慮される人事制度などの検討にも取り組んでいます。

また、今般のコロナ禍でリモートでのやり取りが増えています。海外営業に携わる社員にとって、フレックスタイム制の導入なども働き方改革につながっていくと考えています。

コロナに限らず、変化し続ける社会の中で、いかに柔軟に対応していくかが今後更に重要になっていくのではないのでしょうか。



工場内の様子。育休取得者をはじめ、日々の通常業務においても柔軟な人員配置により、休暇を取得しやすい環境整備に努めています。

●「つばめ子育て応援企業」の認定を受けている企業一覧 (令和2年10月19日現在)

認定No.	企業名	所在地	業種	認定区分
1	遠藤工業株式会社	秋葉町 3-14-7	製造業	★★★★
2	株式会社ハセテック	八王寺 2628	製造業	★★★★
3	大河津建設株式会社	分水あけぼの1丁目 1-72	建設業	★★★
4	学校法人真学園	灰方 726	その他	★★★
5	株式会社氏田組	分水あけぼの1丁目 1-72	建設業	★★★★
6	株式会社ツボ工	幸町 8-4	製造業	★★★
7	株式会社ツノダ	吉田下中野 1535-5	製造業	★★★★

※1 育児休業制度。通常、子どもが1歳を超えた場合、育休を取得するには条件が発生する。
※2 イクメン応援プラスを上乘せ認定された場合、会社と育休取得者に各5万円が助成される。

今回紹介している施策は、0歳から中学生以下の親子を対象にしています。ぜひ活用して、長いようであつという間の「今しかない」子育てを満喫しましょう。



「男だから」「女だから」ではなく、みんなが個性を生かして活躍できる社会を目指しています。一人ひとりが望む生き方・働き方が実現できればと思います。

燕市は子育て支援策も充実！今年度の新規取組を紹介します。

男女がともに輝ける社会を目指して！燕市の施策を紹介します。

③ オムツ用ごみ袋をプレゼントします！

子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、おむつ用ごみ袋をプレゼントします。
出生届か転入届の手続き後、申請を行うことで燕市家庭用指定可燃ごみ袋（極小10ℓ最大300枚）を受け取ることができます。
●対象 令和2年4月1日以降に生まれ、燕市に住所のある乳幼児の保護者

④ 育児相談うけたまわります！ 子育てコンシェルジュ育成中

市内の子育て支援センターや児童館などに、子育てへの心配や不安を相談しやすい体制を整えます。
現在、20人が「子育てコンシェルジュ」となれるよう研修を受講しています。



⑤ 働きやすさに取り組む企業を紹介します！

性別や年齢に関係なくイキイキと働くことのできる職場環境の整備や工夫を行っている市内企業5社をインタビュー。各社の取り組みをまとめた『燕にもこんな会社があったのか！？～「働きやすさ」に取り組む企業を紹介します～』を発行しました。
制作は女性活躍創造プロジェクトチーム「活動☆つばめこまち応援隊」と協働で行いました。



データ版はこちら▶▶



① つばめ子育て応援カード協賛店舗募集中！

「つばめ子育て応援カード」とは、市内在住で中学生以下の子どもがいる保護者や妊娠中の人、協賛店舗で料金割引・粗品進呈などを受けられるサービスです。
協賛店舗は、ステッカーなどで「燕市公認の子育て応援協賛店」であることを市民にアピールできます。
子育て中のパパさん・ママさん、妊婦さんを街をあげて応援しましょう！
●サービスは令和3年4月1日開始予定
●対象者には、カードを令和3年3月中に郵送などで送付予定



詳しくはこちら▶



② 子育てアプリ「はぐはぐ」で情報発信中！

妊娠中の健康記録や子どもの成長記録・予防接種のスケジュール管理、市からのお知らせやイベント情報の取得などができます。
アプリでの記録は家族で共有することもできます。
もちろん、無料！



「はぐはぐ」や「つばめ子育て応援企業」のロゴは私がデザインしました。アプリは私も重宝しています！

元つばめ若者会議メンバー 美佳さん（佐渡）

ダウンロードはこちら▶



つばめ輝く女性表彰

すべての女性が輝いて活躍しやすい環境づくりを進めるため、身近なモデルとなる女性や、女性の活躍を応援している事業所・団体を表彰するものです。令和2年度の受賞者が決定しましたのでご紹介します。
11月24日(火)の「つばめ・やひこ女性活躍推進フォーラム」で表彰式の様子を動画で配信します。



松田直子さん

吉田手話サークルふれあい会長／
燕市聴覚障がい者協会賛助会員

平成6年から手話サークルの会長を務め、平成22年には合格率の低い「手話通訳士」の資格を取得。県央地区で唯一の手話通訳士として活躍している。
幅広い世代へ手話の楽しさを伝えるとともに、手話経験者の手話技術の保持と向上に努め、次世代育成に尽力している姿勢が評価され受賞。

手話の「I LOVE YOU」のサインです。



社会福祉法人 桜井の里福祉会

働き方改革を推進する組織として「職場風土向上委員会」を設置。年休取得率向上や残業削減などに組織を挙げて取り組んでいる。
また、ライフスタイルに合わせた働き方ができるよう幅広い選択肢を用意し、職員が長く働き続けることができるようにするなど、働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいるとして受賞。

つばめ・やひこ女性活躍推進フォーラム2020

働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、個性と能力を十分に発揮できる社会の実現に向けて、「今できること」を学びます。女性も男性も一緒に考えましょう。

- 日時 11月24日(火) 午後1時30分～3時
- 形式 オンライン開催（Zoomを活用してリモート開催とします）
※市役所つばめホールを共同視聴会場として開設します（定員20人程度予定）
- 内容 ①つばめ輝く女性表彰2020表彰式
②基調講演 テーマ：女性活躍促進による企業力アップセミナー
講師：日野佳恵子さん（㈱ハー・ストーリー代表取締役）
③事例発表 発表者：㈱シンドー
- 対象 燕市・弥彦村在住在勤の人・事業者
- 申込 電子メールまたは電話で次の事項を連絡ください。
①氏名（事業所名・役職） ②住所 ③電子メールアドレス ④電話番号
※共同視聴会場での聴講を希望する場合は、その旨をお知らせください。
- 問合せ 地域振興課 地域振興係 ☎0256-77-8361
電子メール chiiki@city.tsubame.lg.jp

